

7 / 19 (水) の行事

報道発表資料の配付日時 7月 12日 (水) 10時00分

発表項目 (行事名)	令和5年度「少年の主張」胆振地区大会の開催について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>少年の健全育成及び非行防止に対する道民の理解を深める契機となることを目的に、次により令和5年度「少年の主張」胆振地区大会を開催します。 この大会には、胆振総合振興局管内の11名の中学生が参加し、幅広いテーマについて主張を発表します。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 開催日時 令和5年(2023年)7月19日(水) 13:30~16:00</p> <p>2 場所 むろらん広域センタービル3階会議室A (室蘭市海岸町1丁目4番1号)</p> <p>3 主催 北海道胆振総合振興局</p> <p>4 日程 13:30 開 会 挨 拶 13:40 主張発表(別添出場者一覧表) 14:50 休 憩(審 査) 15:20 講評・審査結果発表・表彰式 16:00 閉 会</p> <p>5 審 査 最優秀者1名及び優秀者2名を決定し、最優秀者を9月8日(水)に開催される全道大会の出場者として推薦します</p> <p>6 その他 全道大会では、各地区(総合振興局・振興局)の最優秀賞者14名及び札幌市の代表者2名、計16名による主張が行われ、最優秀賞者1名及び優秀賞者3名が決定されます。全道大会の最優秀賞者は、北海道・東北ブロックの代表者2名を決める候補者となります。</p>		
参 考			

報道(取材)に当たって	開催当日の取材のほか、多くの方に来場していただけるよう積極的な報道をお願いします(申込み不要)。		
他のクラブとの関係	同時配付	(場所)	
	同時レク		

担 当 (連絡先)	保健環境部 社会福祉課(室) (担当者:係長 計良 真宏) TEL ダイヤルイン 0143-24-9845 内線 6-750-3851		
--------------	--	--	--

令和5年度「少年の主張」胆振地区大会 発表者一覧表

発表 順番	市町名	氏名	学校名・学年	演題
1	洞爺湖町	つたえ ひなの 傳 陽菜乃	洞爺湖町立洞爺中学校 2年	気持ちを言葉に
2	伊達市	たかはし みこ 高橋 美湖	伊達市立光陵中学校 3年	「ありのままの自分とは」
3	厚真町	かさはら さくら 笠原 桜空	厚真町立厚南中学校 3年	当たり前
4	登別市	こう あいこ 孔 愛子	登別市立幌別中学校 2年	「あだ名禁止問題で感じたこと」
5	むかわ町	はせがわ ちか 長谷川 千夏	むかわ町立鶴川中学校 2年	本当の友達とは
6	壮瞥町	わだ ひかる 和田 輝	壮瞥町立壮瞥中学校 3年	「笑顔」の力
7	安平町	みやこし けんせい 宮越 謙成	安平町立早来学園 8年	「見つけるために」
8	苫小牧市	おおまち ひな 大町 日南	苫小牧市立勇払中学校 3年	違うことも…
9	白老町	もとい くるみ 本井 来美	白老町立白翔中学校 2年	偏見のない世の中のために…
10	室蘭市	きくち わたる 菊地 渉	室蘭市立室蘭西中学校 2年	「人と違う」を個性と認める
11	豊浦町	べっし まなみ 別紙 愛実	豊浦町立豊浦中学校 2年	平等に過ごすためには

令和5年度「少年の主張」胆振地区大会実施要領

1 目的

少子高齢化、国際化、情報化の急速な進展等、社会や国際的な環境が大きく変化する現代社会にあつて、次代を担う少年には、心身ともに健康で他者を思いやる心を持ち、社会的に自立していける、健やかな成長が求められている。

そのためには、広い視野と柔軟な発想や創造性などとともに、物事を論理的に考える力や自らの主張を正しく理解してもらう力などを身につけることが大切であることから、少年が社会に向けての意見、未来への希望などを発表する機会を設け、少年の健全育成及び非行防止に対する道民の理解を深める契機となることを目的とする。

2 主催

胆振総合振興局

3 対象

胆振総合振興局管内の中学生及びそれに相応する学籍又は年齢にあるもの（以下「中学生」という）。

※国籍は問わないが、日本語で発表できること。

なお、作品は未発表、自作のものに限る。

4 名称

令和5年度「少年の主張」胆振地区大会

5 実施要領

胆振総合振興局管内の中学生を対象に意見主張の場を設定する。

(1)実施方法

大会形式により実施する。

開催にあたっては、換気、消毒、距離の確保や主催者のマスク着用など基本的な感染防止対策を講じ、また、地域の新型コロナウイルス感染症等の状況に応じて、観客数の制限など必要な対策を講じる。

(2)募集

- 教育局の協力を得て、管内市町村教育委員会等を通じて、各中学校に対し、周知を図る。
- 各市町村単位、各学校単位で実施している主張大会、弁論大会等と連携した募集の他、自由公募などにより募集する。
- 広報媒体を利用した募集に努める。

(3) 発表内容

次のような内容で、心からの思いや考えたこと、感銘を受けたことなどを少年らしい自由でユニークな、飾り気のない言葉でまとめたもの。

- 社会や世界に向けての意見、未来への希望や提案など
- 家庭、学校生活、社会（地域活動）及び身の回りや友だちとの関わりなど
- テレビや新聞などで報道されている少年の問題行動、大人や社会の様々な出来事に対する意見や感想、提言など

※商業的な固有名詞の使用は極力避けることとする（例えば、「〇〇にある〇〇旅館」を「〇〇にある旅館」に言い換えるなど）。

※楽器、絵画、フリップボード等の小道具を使用したパフォーマンスを取り入れてもよい。

(4) 発表時間

5分程度（400字詰原稿用紙4枚程度）

※全国大会の規定が、学校名、氏名、タイトル等の部分は除く「作文本文の出だし」から「作文本文の終わり」までで4分30秒～5分30秒となっているため、この範囲内に収めてください。

(5) 審査

- ・ 関係機関等に、選考に係る審査員の推薦を依頼する。
- ・ 審査により、順位付けし、最優秀者1名及び優秀者2名を決定する。

(6) 審査基準

ア 論旨

- ・ 鋭い感性で、新鮮な主張であるか。(中学生らしさ)
- ・ 新しい情報や視点があるか。
- ・ 個人の体験にとどまらず、一般性・社会性があるか。
- ・ 提案や提言を実現・実践する意欲が感じられるか。
- ・ 論旨が一貫し、構成がしっかりしているか。

イ 論調

- ・ 主張の内容が共感と感銘を与えているか。
- ・ 説得力ある話し方であったか。
- ・ 話し振りに熱意と迫力があるか。

(7) 実施月日(審査月日)

令和5年7月19日(水)

(8) 表彰

最優秀者1名及び優秀者等に対して賞状等を授与する。

(9) 推薦

最優秀者を全道大会参加者として、保健福祉部に推薦する。最優秀者が参加できない場合は、次位の者を推薦する。

6 その他

- ・ 主張発表者の原稿は400字詰原稿用紙(A4)縦書きで、本人自筆による原本(障がい等による場合はワープロ可)とする。

※異なるサイズの場合、A4サイズに書き直した原稿が必要となりますので、ご注意ください。

- ・ 応募された作品は、原則返却しないこととし、北海道に帰属するものとする。
- ・ 原稿の書き出しについては次のとおりとする。

4 行 目	3 行 目	2 行 目	1 行 目
作 文		北 海 道	タ イ ト ル
	氏 名	学 校	
		学 年	